

卸系多収米

福井の稲作を『強い粒づくり』大粒&多収でつなぐ

KYOU-RYU. EXPRESS

令和6年7月5日

JA福井県

つきあかり速報 No.5

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

梅雨前線が本土付近に停滞したため、週前半を中心に大雨となりました。また週の中頃にかけては、低気圧が日本海側から東北地方に進んだため雨が強まり、期間を通して雨量のかさむ週間となりました。週末にかけても梅雨前線が日本海側から東日本を中心に停滞し雨模様の予報です。今後は、この時期らしく曇りや雨の日が続きます。今週のつきあかりの生育は、幼穂が確認されましたので、間断通水をおこない、病虫害の発生や予防に努めてください。

1. JA生育調査状況（7月3日現在）

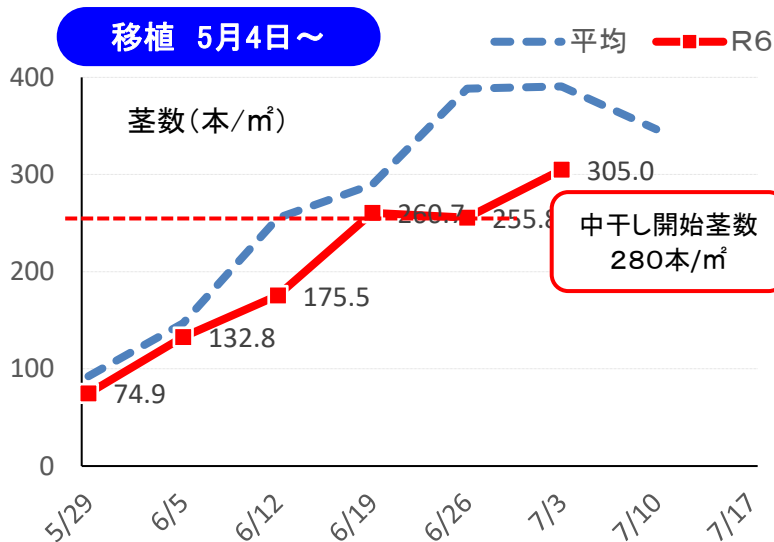
栽培区分	平均作業日	草丈cm	茎数本/m ²	葉令	葉色	幼穂
移植	5月4日	84.1	305.0	-	4.4	30mm

草丈と葉色は平年並みを維持していますが、茎数が依然として平年より少ない状況です。

【平年比】

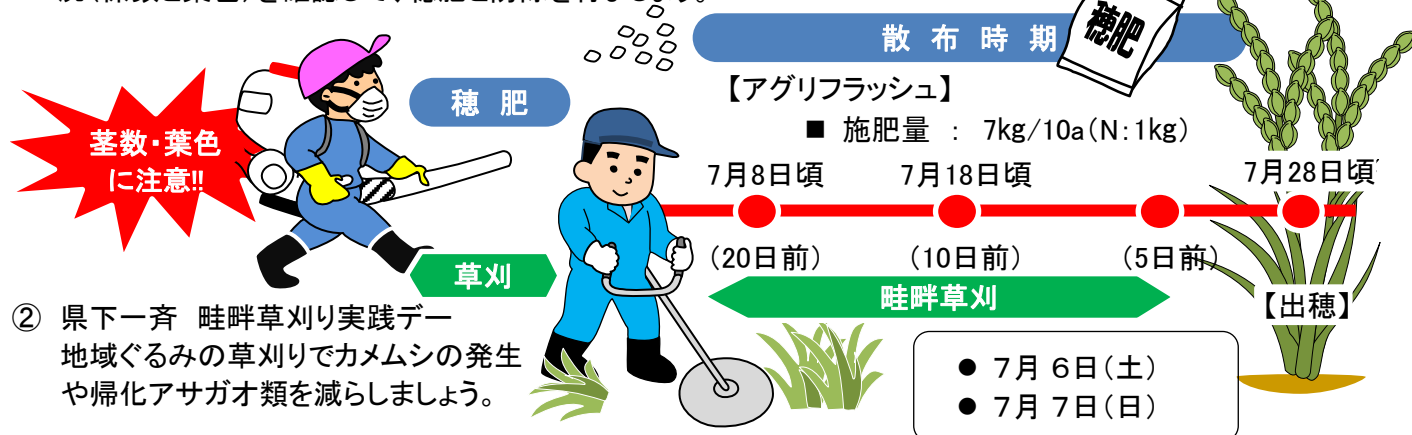
●草丈:並み ●茎数:少ない ●葉色:並み

2. 茎数の推移と今後の管理



3. つきあかり栽培管理のポイント！

- ① 今週末から来週にかけて、幼穂形成期に入ります。収量を高めるため、生育状況(係数と葉色)を確認して、穂肥と防除を行しましょう。



- ② 県下一斉 畦畔草刈り実践デー
地域ぐるみの草刈りでカメムシの発生や帰化アサガオ類を減らしましょう。